能美市議会広報誌

のみだより

令和元年
9月定例会
第64号
発行日:令和元年11月1日
発　行:能美市議会
編　集:広報特別委員会

特集

市内中学生と議会との意見交換会

CONTENTS

定例会報告 …… P 2
委員会審査報告 …… P 3
討論 …… P 4
所管事務調査報告（産経）・賛否一覧 …… P 5
一般質問 …… P 6
視察報告（広報） …… P13
市内中学生と議会との意見交換会 …… P14
議会日誌・議会日程・編集後記 …… P16

ピックアップ

令和元年9月定例会

今定例会は、9月2日（月）から20日（金）までの19日間の会期で開かれました。市長から提出された議案29件、報告3件をすべて可決･認定･承認しました。

主な議案の内容は以下のとおりです。

●令和元年度能美市一般会計補正予算（第2号）

健康増進施設周辺整備事業として9,680万円を追加補正

令和元年度能美市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億7,200万円を追加し、予算の総額が228億7,000万円となりました。

主な内容は、健康増進施設「クアハウス九谷」の敷地内に新たな駐車場等を整備し、慢性的な駐車場不足の解消と利用者の利便性の向上を図るための経費として補正されました。また、今後周辺一帯を、健康増進ゾーンとして整備する計画となっています。

なお、その他の一般会計補正予算の主な内容については次のとおりです。

プレミアム付き商品券事業（17,624千円）

プレミアム付き商品券事業において、着実に事業の進捗を図るための経費

定期予防接種事業（13,357千円）

予防接種法改正による、風しんの抗体検査及び風しん第5期定期接種にかかる経費

県営基幹水利施設予防保全対策事業（10,237千円）

下郷用水の水路工事及び宮竹用水の安全柵設置工事に伴う市の負担分

各種大会参加事業（7,009千円）

中学校部活動が、北信越大会や全国大会などへ参加するための一部を補助する経費

●平成30年度能美市一般会計決算

実質収支は６億6,240万7,231円の黒字決算に

平成30年度一般会計決算は、歳入総額232億4,518万7,305円に対し、歳出総額223億9,583万円となりました。歳入歳出差し引きから翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、６億6,240万7,231円の黒字決算となり、このうち３億4,000万円を※財政調整基金に積み立て、残り3億2,240万7,231円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

※財政調整基金とは、地方公共団体の健全な財政運営を確保するために設置した積立金で、いわば地方公共団体の貯金。経済事情の変動等による減収、災害により生じる予期せぬ支出・減収を埋めるときや、緊急性の高い大規模な建設事業の経費等に充てることとしている。

令和元年度
一般会計補正予算

予算決算

●プレミアム付き商品券事業

Q　対象者は、当初から何人増えたのか

A　住民税非課税者が、4,750人から6,100人に、3歳児未満の子どもが1,250人から1,400人に増加する。

●健康増進施設周辺整備事業

Q　クアハウス九谷の駐車場はどのくらい足りないのか

A　現在、駐車場の台数は162台であり、夕方の混みあう時間帯に枠外駐車が約10台、毎週土曜日は、子どものスクール等と重なり、約30台が不足している。

●森林環境譲与税活用事業

Q　事業の対象となる森林の面積はどのくらいなのか

A　事業の対象となる森林の面積は、市全体で508haあり、今回意向調査を行う和佐谷町は、101haである。

平成30年度
一般会計決算

●男女共同参画プラン策定事業

Q　アンケート調査を市民と事業所それぞれで実施しているが、アンケートの配布数と回収率はどのくらいか

A　市民については、18歳以上を対象に2,000人に配布し、回収率は52.3％であり、事業所については、273か所に配布し、回収率は48％であった。

●災害緊急時備蓄品費及び、災害対策設備等整備費

Q　備蓄品費である食料品等で、廃棄したものはどのくらいあるのか

A　期限が来る前に、自主防災組織に希望を聞いた上で、配布しているので廃棄はしていない。

●自然環境調査保全事業

Q　トミヨの保存は、具体的に何が行われたのか

A　トミヨの生息が確認されている場所において、生息調査やトミヨの生態系に影響を及ぼす外来生物の捕獲、また生息に必要な水生植物の現状調査を行っている。

委員会審査報告

市長から提出された議案等は、４つの常任委員会に付託し、より詳細な審査を行っています。主な審査内容は次のとおりです。

委員会名	委員長	副委員長	委　員
総　　務	田中大佐久	仙台　謙三	杉田　隆一、倉元　正順 山下　　毅
産業経済	米田　敏勝	田中策次郎	東　　正幸、佐伯富美子 卯野　　修三
教育福祉	山本　　悟	北村　周士	近藤　啓子、居村　清二 嵐　　昭夫、開道　昌信
予算決算	田中策次郎	嵐　　昭夫	議長を除く全議員

能美市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正

総　務

消防団の充実、強化を図るため、機能別分団制度を導入することに伴うもの

Q　10月1日施行であるが、機能別団員の確保はできているのか

A　定数21名のうち18名が確定しており、今後も定数確保に向けて募集を行っていく。

能美市の適正な土地利用に関する条例の一部を改正

産業経済

これまでの運用において生じた不整合や齟齬(そご)のある箇所について改めるとともに、併せて建築基準法施行令の改正に伴い関連する条文を改めるもの

Q　この条例の改正は、規制緩和につながるのではないか

A　運用においては、これまでどおり土地利用審査会による審議の上許可するものであり、規制緩和にはならない。

能美市病院事業の設置等に関する条例及び能美市介護老人保健施設条例の一部を改正

教育福祉

介護保険法の改正及び診療報酬の改定並びに病院が算定する入院基本料区分の変更に基づくもの

Q　現状は特別療養料1,998円以内となっているが、実際はそれより引き下げて徴収しているのか。また、学校に提出する簡易診断書はいくらか

A　特別療養料について、現状1,998円に消費税を掛けた金額を徴収している。簡易診断書に関しては、学校から求められたものについて、500円に消費税を掛けた金額で発行できるよう、1,500円を1,500円以内にしたい。

討論 ―こんな理由で賛成・反対しました―

９月20日の定例会最終日、各議員から活発な討論が行われました。
討論とは、採決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。下記にその概要を掲載いたします。

●能美市消防手数料条例の一部を改正
●能美市立病院事業の設置等に関する条例及び能美市介護老人保健施設条例の一部を改正

反　対
佐伯 富美子
議員
（日本共産党）

能美市消防手数料条例の一部を改正する条例は、消費税増税に伴う、住民への負担増であり、市民生活を圧迫する消費税の増税には反対の立場である。

また、能美市立病院事業の設置等に関する条例及び能美市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例については、赤字が続く病院経営であることは承知しているが、この条例も10月１日に引き上げられる消費税増税に伴うものである。特に年金生活の高齢者は、上がらない年金と消費税増税に苦しめられる方々であり、さらなる負担をかけることに反対する。

●平成30年度一般会計歳入歳出決算

反　対
近藤 啓子
議員
（日本共産党）

平成30年度から３年間で介護保険料の引き上げ、水道料の引き上げによって６億円もの負担がかかり、さらに後期高齢者保険料も所得割の軽減特例措置が縮小され、負担増となっている。

今後、年金は、マクロ経済スライドで３割も削減されるとの試算が出され、閉塞感を強くしている。合併後ささやかな福祉サービスも次々と縮小廃止となり、他市と変わらなくなっている。

能美市ではこの間、いきいき安心医療費助成制度も来年には廃止され、在宅介護慰労金制度、心身障害児扶養手当、難病患者支援など、制度は所得制限を厳しくし制度の形骸化となっている。

高齢者や障害者への福祉サービスを見直し復活させることがまず必要でないか。シティプロモーション、移住定住推進の市長のエネルギッシュな力を地方自治体の本旨に基づき、「市民の暮らし応援の政治」へとの改善を求め反対する。

賛　成
山下　毅
議員
（大志）

今定例会において報告のあった、財政的な一つの目安でもある「平成30年度決算に基づく能美市健全化判断比率及び資金不足比率」によれば、「実質赤字比率」や「連結実質赤字比率」は実質収支の赤字や資金不足が発生していない。

また「実質公債費比率」、「将来負担比率」においては、前年度と比較して、いずれも数値が改善されており、両比率ともイエローカードと言われる早期健全化基準を大きく下回っている。

これらのことから、平成30年度決算での能美市の財政はまだまだ健全な状態にあると言える。

歳出面においては、少子化・高齢化の進展による社会保障費のさらなる増高をはじめ、公共施設の維持管理や更新にかかる経費や県水の受水に対しても引き続き繰出しするなど、予測される事態ばかりでなく、ゲリラ豪雨などの自然災害が発生すれば、その被害対策にも想定外の支出が予想される。

また、10月からの消費税率の引き上げにより、地方消費税交付金の増額が見込まれるが、歳出の増加や、消費の落ち込みなどにより地域経済への影響などにも注視する必要がある。

執行部には、この様な課題に対し適切な対応を求め、財政運営にあたられることを希望するもので、本定例会に上程された全ての議案に賛成する。

所管事務調査報告

委員会は、議案や請願の審査を行うほかに、所管に属する事務について調査活動を行うことができます。

能美市議会では、常任委員会ごとに具体的な年間活動テーマを定め、委員会を通じて調査研究や意見交換などを行ってきました。定例会最終日には各常任委員長が所管事務調査の内容を報告し、行政に対して政策提言を行いました。

調査報告の主な内容は次のとおりです。

産業経済常任委員会

企業誘致が地域経済及び地場産業に与える影響について

調査の目的として、従来企業誘致の目的は税収と雇用であったが、これまでの企業誘致で地元住民の雇用先は充分であるか。また、誘致企業からみて人材は充分に確保できているか。さらに、企業誘致によって地元企業は人材を確保出来なくなることはないか。

また、誘致企業と地元企業とが、業務的に関連を持つことができれば地元企業の成長につながり、反対に競合する事で地元企業の衰退につながる可能性はないのか。

そして、誘致企業の仕入れ先や従業員による生活消費等において地場産業を利用する事によって、地場産業の成長や市内での経済循環が促進される見通しはどうか。

これらの調査研究を通して、地元の企業は、働く環境や職場の魅力等の情報を集約し発信する機会を増やしていく事を求め、また企業における地域経済活性化を進めるために、北陸先端大の知見を活かし、地元の寺井高校と、企業・商工会・能美市等が交流や意見交換する場を作れないか、検討を求める。

今後も、市内の若者が卒業後に能美市に帰ってきたくなる能美市全体の魅力づくり、女性や、障がい者、外国人などが市内の企業で働きやすくなるような、環境づくりの支援を提言する。

賛否が分かれた議案

○＝賛成、●＝反対、議長は採決に加わりません。

議案名	山下毅	卯野修三	佐伯富美子	北村周士	仙台謙三	山本悟	田中大佐久	田中策次郎	開道昌信	嵐昭夫	南山修一	居村清二	倉元正順	米田敏勝	東正幸	近藤啓子	杉田隆一
能美市の適正な土地利用に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
能美市消防手数料条例の一部を改正する条例について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
能美市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
能美市病院事業の設置等に関する条例及び能美市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
令和元年度能美市一般会計補正予算（第２号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市一般会計歳入歳出決算認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市水道事業会計決算認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○
平成30年度能美市工業用水道事業会計決算認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	●	○

このほかの議案などの審議結果は、能美市議会のホームページをご覧ください。

田中 策次郎 議員
大 志

保育環境の充実について

Q 安定した保育の質を維持していくために保育士の増員と、臨時保育士の勤務体系の見直しが必要ではないか

A 正規保育士については、近年、退職者数を上回る雇用を行っている。臨時保育士から正規職員への採用も考慮し、正規職員の確保に努めていく。

Q 職員の休暇時の円滑な保育と、安全な保育を維持するために各保育園にフリー保育士の配置が出来ないか。また、副園長を担任から外し、園長と共に保育園の管理・運営の補助を行えないか

A 今年度、粟生保育園で副園長はクラス担任を持たないフリーな立場で業務ができる体制をモデル的に運用している。クラス運営の確認や指導、行事の準備等のほか安全管理の面も運営上プラスとなっている。今後、副園長のフリー化を順次検討していく。

障がいのある方の家庭支援

Q 介護者である親が亡くなった場合、残された障がいのある方に、市はどのような支援を行っているのか

A 地域生活拠点の整備のための支援を行っている。さらに、本人の気持ちや生活能力を勘案し支援にも心がけている。

Q 市として障がい者家族の方の集いの場所をさらに増やし、その情報発信を出来ないか

A 市内には、障がいのある方の家族同士が話し合いをする場に「のみ子ども食堂in三道山」と「ゆるにこサロン」があり、さらに本年6月より「まるにこ親子の広場」をボランティアの協力のもと開催している。集いの場の情報を子育てカレンダーやママフレで発信しており、居場所や仲間づくりの場として継続し交流が盛んになるよう支援をしていきたい。

▲のみ子ども食堂in三道山

一般質問

山下 毅 議員
大 志

地域共生社会実現に向けた取り組み

Q 「あんしん相談センター」設置により、様々な実態把握ができ、市として足りないもの、また、課題解決に向けた福祉施策は

A 課題として、8050問題の医療や介護、緊急時対応、住まい、就労が挙げられる。医療や介護では、障害特性に応じた適切な医療機関への受診の弊害や重度身体障がい者の方の入浴問題、ホームヘルパーの慢性的な不足など訪問介護サービス体制の充実が挙げられる。また、緊急時の受け入れ先など、支援者となる専門的人材などの確保も必要。今後、親亡き後を見据えた、住まいや就労先の確保も必要となる。

Q 地域共生社会の実現に向けた市の取り組みは

A 地域共生社会の実現を目指し、総合相談支援、地域力強化、医療・介護連携の3本体制の構築と強化に向けて「横糸」プロジェクトチームで取り組んでいる。今後も能美市の特徴である「つながり」を生かし、訪問看護などの機能強化の分析を進め、関係者間で学習や検討を行い、オール能美体制で地域共生社会の実現を目指す。

根上海岸の保安林機能の維持管理について

Q 組合と市が協働で管理せよ

A 高齢化に伴う人手不足や後継者不足などの課題があり、これらを直ちに解決することは困難である。今後は、地域が一体となった協働体制を構築することが重要であり、市として役割分担などのあり方について、森林組合や県、地域、企業などと議論していく。また、解決策の一つとして、環境贈与税の財源を活用し、他自治体の取り組み事例も参考にしながら調査研究を行い、保安林の保全につなげていく。

Q 保安林一帯にヘリコプターで農薬散布を実施せよ

A 高速道路から西側では、無人ヘリコプターによる空中散布を行っているが、東側は民家や工場等が隣接している箇所もあり、地上散布を行っている。農林水産省の基準などを勘案し、現行の地上散布、樹幹注入、伐倒駆除を併用した防除方法が適切であると考える。

田中 大佐久 議員
大　志

東京オリンピック・パラリンピックについて

Q 能美市を走る聖火ランナーは能美市民が担うべきではないか

A 市内を走るランナーは市民でありたいという思いは同じであり、能美市も実行委員会のメンバーの一員であることから、引き続き県実行委員会と調整していく。

平成30年度一般会計決算を踏まえて、今後の財政運営について

Q 財政調整基金について、3年連続して取り崩した状態での決算であるが、その主な要因は

A 歳入では、一般財源が減少した。歳出では、消防本部や美化センター職員の計画的な増員による人件費の増加等が主な要因。財源不足を補い、収支の均衡を保つために取り崩したものである。

Q 地方消費税交付金について、消費税が10％に改正された場合の増収益を問う

A 平成30年度決算額約9億5千万円をベースに1年間分を試算すると約2億8千万円の増額となる見込みだが、軽減税率の適用分もあるので金額は変動するものと考えている。

Q 建設計画等促進基金を計画的に積み増すとのことだが、現状の計画を見直す考えはあるのか

A 平成30年度は、厳しい財政状況の中、平成29年度に続き基金運用収入の利子分を積み立てるにとどまったが、取り崩しを全てやめることができた。後年度の老朽化対策の財源として基金残高は堅持されているところである。財政事情や市民ニーズに沿った見直しも同時に進めながら、可能な範囲で基金を積み増していきたいと考える。

Q 平成30年度決算の総括・評価を問う

A 個人・法人市民税は過去最高の収入額であり、実質単年度収支についても前年度に比べ改善することができた。今後も諸課題に対して迅速に対応し、引き続きタウンミーティングを初めとする現地現場主義、市民ファーストの精神に基づき、市の魅力や課題に対し、真摯に向き合っていきたい。

一般質問

佐伯 富美子 議員
日本共産党

介護保険について

Q 介護保険料の滞納者に対するペナルティはあるのか。その内容は

A 介護保険料の滞納は被保険者の1.1％となっており、特別の事情もなく滞納を続けた場合給付額の減額等ペナルティはある。年に数名の該当者がいる。

Q 介護認定を受けているのに、介護サービスを受けていない人はいるか。またその理由はなにか

A サービスを利用していない人の割合は15.5％であり、そのうち、4割の人が、非課税世帯である。

制度の理解不足や、経済的要因で介護サービスを受けられないということがないように、未利用の現状と要因の詳しい実態を把握していく必要がある。

Q 特別養護老人ホームの待機者は何人か

A 待機者は93名。老人保健施設や病院入所等で待っている方が50名、グループホーム入所が22名、在宅の待機者が17名となっている。

Q 介護虐待の実態は

A 平成28年から30年の3年間で21件の新規認定があった。

そのうち18件が認知症や脳梗塞などの疾病を抱えている。医療、介護、生活困窮、警察、地域などのネットワークでの支援が必要と認識している。

公契約条例について

Q 能美市の公契約は何件あるか

A 建設工事請負、清掃等の業務契約、物品購入、修繕契約等平成30年度で年間1,339件を発注している。

Q 公契約条例を制定し、適正な下請け単価、賃金等の改善をはかれ

A 最低賃金とは別に条例による賃金の基準を決めることには、慎重な検討が必要と考える。

倉元 正順 議員

消火栓の目印標識設置

Q 火災発生時において、消火活動に使用する消火栓の迅速な位置確認のためにも、設置場所に目印の標識を設置してはどうか

A 水利標識を設置すべき場所については、現段階での目印の赤旗を計画的に水利標識に交換していく。

消火器の処分方法

Q 長年設置してあった消火器を交換する場合、破棄する消火器はどのように処分するのか。また、市民への情報提供について問う

A 市内では、3か所の事業所が有料で引き取っている。こうした情報は、消防本部のホームページに掲載されている。

さらに、今後「広報のみ」にも掲載し、処分に係る情報を発信していく。

スプリンクラーの設置状況

Q 事業所などの火災の場合、スプリンクラーの設置があれば、被害が軽減できたのではないか、と思われる火災が発生している。市内の事業所での設置状況はどうか

A 市内では、40の事業所に設置されており、公表制度が始まることから、未設置事業所を巡回し違反是正に向けた取り組みをしていく。

ドクターヘリでの搬送件数

Q 今年度に入り救急車の出動回数と重症者のドクターヘリの要請は何件か

A 救急車の出動回数は、1,176件で、そのうちドクターヘリによる搬送は、13件である。心肺停止などの生命の危険な状態で、すぐに医師に引き継ぐことが必要と判断した場合、救急隊から積極的に要請している。

▲救急車からドクターヘリへの傷病者収容訓練の様子

一般質問

嵐 昭夫 議員
市民

安心安全な歩行空間の整備

Q 歩行者の安心・安全を守る道とする、歩行者保護モデル路線計画について問う

A 保護モデル地区・路線については、石川県警が実施しており、能美警察署管内では浜小学校周辺と根上中学校周辺の2地区・2路線が指定されている。

市では、交通安全対策設備事業として安心・安全な道路空間創出検討業務を、歩行者及び自転車交通量の多い福岡町を、モデルケースとして調査着手した。この取り組みを、宮竹保育園、宮竹小学校周辺をはじめ市全域に広げる。市民が安心して歩くことができる、優しい能美の道づくりを目指す。

介護人材の処遇改善計画

Q 国の社会保障の充実の中に、2019年10月から勤続年数10年以上の介護福祉士に、月額平均8万円相当の処遇改善を算定根拠に予算化されているが、市の対応計画を問う

A 平成29年度の第7期介護保険事業計画で、平成30年度から令和2年度までの見込み額を計上。具体的には、令和元年度は半年分として介護サービス費40億1,000万円の約1%（4,010万円）。令和2年度は一年分約2%（8,020万円）になっている。国は10月に介護報酬の改定を行い、経験・技能のある職員に重点化を図り、処遇改善を進める。市においても、働きやすい環境づくりに取り組む事業者に支援を検討する。

辰口まつり会場に女性専用トイレ

Q トイレの順番を待つ女性の方々が特に多かった。増設等の対応について問う

A 当日は好天にも恵まれ来場者も多かったことから、庁舎南棟一階のトイレに混雑が見られた。今後は、仮設トイレの設置場所の見直しや増設、男女の出入り口を区分するなど、プライバシーを守ることも含め検討していく。

▲辰口まつりじょんから踊り

卯野 修三 議員
大 志

南加賀の観光振興

Q 金沢にあまりなくて、南加賀に多くあるものをキーワードにして、南加賀が一体となれる※「廃線歩き」をふるさと愛・産業遺産の観点から観光の目玉にしてはどうか

A 廃線歩き（ロストライン・ツーリズム）は、「あるもの活かし」として観光誘客の観点からも大切であり、来秋開館予定の新博物館にも「のみ電の時代」と称する常設展示コーナーを設ける予定である。さらに、2020年には廃線後40年を迎えるので、鉄道関連遺産をもつ南加賀の他の自治体と有機的に結びつけ、「オール加賀会議」にも提案していきたい。

※南加賀の電車：南加賀の私鉄は、昭和30年代～50年代にかけ、一部を除き順次廃線となった。

Q のみ検定の現状と今後の方向性を問う

A 郷土愛の醸成・能美市ファンの拡大の目的で実施し、過去5回の累計受験者478名、合格者126名。市内受験者が72％を占める。今後は、初級から上級まで3段階設ける。参考書も寺井高校生などの協力で、作製中。試験時期も検討したい。さらに、のみ検定合格者に、観光をサポートしていただく人材として活躍できるような仕組みも検討したい。

寺井高校支援

Q 本年3月過去最低の入試倍率になった能美市唯一の公立高校である寺井高校に対し、今後の支援策を問う

A 現状は、寺井高校教育振興会に部活動および講師に謝金等で支援している。今後とも、寺井高生の市への貢献・活躍（例・市の公式キャラクター「ひぽ能ん・ゆず美ん」のデザイン原案は寺井高生が手がけた）を、広く市民に知らせ、能美市にとって大切な高校であることを浸透させていきたい。

▲昭和55年9月に廃線となった北陸鉄道能美線

一般質問

東 正幸 議員

市観光戦略とアクションプランについて

Q 動物園やレジャー施設を観光誘致の手段としてあげているが、大規模施設とどのように対峙し、その魅力の発信を考えているのかを問う

A 市内には、多種多様な観光資源が存在し、より多くの観光客に来ていただくための環境整備はもちろん、小松市との連携事業を充実させるなど、観光地を線や面でつなぎブラッシュアップの必要があると感じている。さらに、ビジネスや交流を通じて、市民の生きがい等を生み、移住・定住へとつなげていくことを目標としている。

Q 2015年新幹線開業年に、2％にとどまっているが、誘客をどのように取り込み案内するかが課題であるが見解を問う

A 2次交通が大きな課題となっており、来年度の春に向け市内観光施設を周遊するのみバスのルート設定の準備を進めている。また、金沢駅からのアクセス情報も含めスマートフォンなどの情報端末機器から手軽に検索できるようにしていきたい。

Q 訪日外国人客向けに対し、近隣の自治体の具体的な取り組みをどう捉えているのか、能美市の効果的な情報発信等をどう生み出していくのかを問う

A 観光アクションプランにインバウンド観光の充実を掲げており、小松市との連携観光推進事業のパンフレットに英語表記を追加し、シンポジウムにも参加をして九谷焼を世界に発信していきたい。加えて、積極的にインバウンド観光を進めている自治体の取り組みも参考に、観光・民間団体と一丸となって、海外向けの情報発信や観光ガイドの設置、ガイドブックの作成に取り組んでいく。

▲いしかわ動物園開園20周年記念

北村 周士 議員
大 志

シェレホフ市との交流について

Q 「友情の森」記念植樹地の新たな選定は

A 現在地は植樹スペースが少なくなっており、ゆくゆくは新たな植樹地を選定する必要がある。樹木の成長に対応でき、市民に親しまれ、シェレホフ市の皆さんにも友情の証として喜んでいただける場所となるよう、関係者、親善協会の方々と協議していきたい。

生活支援サービス（買い物支援事業等）の拡充について

Q どのような取り組みを考えているか

A 関係諸団体と協議体を組織し、地域共生社会の実現に向けて議論を行っている。「資金面の問題による互助活動や地域力の低下」、「活動を継続するための体制づくりが必要」などの意見もある。今年度から、北陸先端大との連携のもと資金等支援体制検討部会を立ち上げた。公助の隙間を埋める、地域のつながりを生かした温かい互助での支え合いによる地域共生のまちづくりを目指していきたい。

合併15周年記念事業について

Q 「能美市合併15周年記念事業」と題した"冠事業"を実施せよ

A 合併15周年を迎える2020年は東京オリンピック・パラリンピックの開催、新博物館の竣工、のみバスの運行再編、公共サイン整備事業の推進、広域的なプロモーション事業の展開などを予定しており、市にとって重要な1年となる。「能美市合併15周年記念事業」や「祝能美市合併15周年記念」などの冠を付け、その機運を高めていきたい。

▲シェレホフ市との記念植樹が行われている「友情の森」

一般質問

仙台 謙三 議員
公明党

やさしい日本語

Q 災害情報を迅速に、正確に、簡潔に外国人被災者に伝えるために考案された「やさしい日本語」は、外国人だけでなく、日本語を母国語とする多くの市民にとっても有益と考える。災害時などの情報発信に活用せよ

A 「やさしい日本語」は、外国人を対象とする国際交流事業の案内などに使用されている。広く市民や地域に根づくように「やさしい日本語」の普及を図ることは大切であり、活用の可能性や方法などについて検討していく。

外国語指導助手の増員

Q 英語を母国語とする外国語指導助手の増員を行い、より多くの生徒たちが、より多くの時間を、英語に、そして外国人に触れることが重要と考えるが、市の見解は

A 市内3中学校には、現在、各校1名の外国語指導助手が配置されている。小学校では、まずは、英語堪能な(日本人)講師を増員し、外国語の授業や外国語活動を充実させていく。

今年度、宮竹小学校で行っている北陸先端大の留学生との交流を、次年度以降は、市内の全小学校に広げていきたい。

英語への苦手意識対策

Q 児童・生徒が英語に対する苦手意識をもたず、英語嫌いにならないために、どの様な対策を行っているか

A 児童や生徒の興味、関心を引き出す授業づくりを実践しており、英語を使うことは楽しいと思える児童の育成に成果を上げている。今後は、すべての授業に外国語指導助手を配置することを考えている。

今年度の「子どもマイスターウィーク」では、子供達が、どんどん英語で話してみたくなる「オールイングリッシュ教室」を計画している。

▲生の英語に触れて楽しく英語を学ぶ

開道 昌信 議員
大 志

民生委員・児童委員について

Q 民生委員の身分、定数、委員数、充足率、平均年齢、具体的活動等の現状、行政にとっての位置付けを問う

A 民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱される非常勤特別職の地方公務員である。また児童福祉法により、児童委員を兼ねている。

本市の定数は91人、民生委員・児童委員が82人、平均年齢は64.3歳、主任児童委員が9人、平均年齢は60.5歳、充足率は100％、平均年齢が近年上昇傾向にある。

地域の身近な相談対応、高齢者宅の見守り、災害時は避難行動要支援者の実態把握、新生児誕生家庭への誕生日祝い訪問など、子供から高齢者まで全世代への支援が主活動である。

行政にとって地域福祉の充実を推進する上で、地域と行政、関係機関を繋ぐパイプ役として、大切な存在である。

Q 人口の増減、広域化にどう対処しているのか

A 本年12月1日の改選を迎え、委員一人当たりの世帯数、高齢化率、要配慮者の割合、数値ではかれない特性等を加味し、浜町と緑が丘で各一名増員する。

中山間地については担当区割りを変更せず、市民福祉向上のため、減員する事無く定数を維持する。

Q 全国的に民生委員・児童委員の確保、なり手不足が課題となっている、今後の対策は

A 改選の度、なり手不足や各町会・町内会の様々な事情もあり、各町会、町内会長には推薦にあたり大変な苦労があると聞いている。

今回の改選を機に民生委員児童委員協議会との協議を深め、活動内容の見直し等を検討したい。

また民生委員・児童委員の負担感を少しでも軽減できるよう、委員のほか、町会・町内会の福祉推進員や役員等で構成する地域福祉委員会の活動充実への支援を行い、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりを進め、なり手不足の解消につなげたい。

一般質問

山本 悟 議員
大 志

西川流域の治水対策

Q 3月に開催された石川県主催による手取川下流左岸圏域（西川・熊田川）川つくり懇談会の内容を問う

A 30年に1回の大雨に対処できるよう、国が設置する樋門から知事管理区域最上流部までの4.1kmの区間で築堤、河道掘削、護岸工事を行うものである。

Q 河川拡幅と産業団地造成工事との調整は図られているか

A 河川幅が拡幅することを見越した造成計画を立案しており将来的には良好な親水空間となる。

Q 国交省で整備する合流部の樋門工事、県が整備する約4.1kmの河川拡幅工事の早期完成を、議会と執行部が協力し推進せよ

A 白山市と緊密に連携し、議会とともに、国や県に対してこれまで以上の熱意で、事業の早期着手、完成に向けて強く働きかけていく。

幼児教育・保育の無償化

Q 10月からの3歳児から5歳児の副食費をどう扱うか、また1号認定の子どもの預かり保育料についてはどう対処されるか

A 副食費については実費負担をお願いし、金額は月4千円とする。18歳以下から数えて第3子以降と年収360万円未満相当世帯の第1子第2子については実費負担はない。預かり保育料については2千円で統一する。

Q 来年度以降この無償化に対し、財政面を含め能美市にどのような影響があるか

A 来年度以降の影響額は1億円程度となる見込みであるが、この負担額は地方消費税の増収分と地方交付税で財源措置される。

▲整備される西川

近藤 啓子 議員
日本共産党

無料低額診療事業の充実をはかれ

Q 寺井病院での無料低額診療（以後　無低診）利用者は、能美市で59名と増えてきている。生活苦や家庭の問題を抱えている方が多い。病院と行政が連携を深めた支援の充実が必要ではないか

A 生計が困難であっても、生命に直結する医療を平等・円滑に受診できる重要な制度である。国民健康保険法第44条や第77条の活用、法外援助など、生活困窮者の実態から課題を見出し、支援内容の充実をはかっていく。

Q 院外薬局は無低診事業の対象にはなれない。政府に院外薬局を対象にするよう意見を上げるべきでないか。当面、院外薬局への薬剤費の支援ができないか

A 福祉サービスの活用、福祉資金の貸し付け、生活保護の適用検討など病院の相談員とも連携をとって対応する。

政府は「無低診事業を行う医療機関における調剤のあり方について」の調査・検討を行っており注視していく。

プラスチックごみ減量への対策をすすめよ

Q 海洋プラスチックごみは年間800万トンであり、マイクロプラスチックとなって、生態系にも影響を与えている。プラごみの減量にどう取り組むのか

A プラスチックの普及は、生活に利便性をもたらす一方で、海洋プラスチックごみなど環境汚染による生態系、生活環境等への影響が懸念されている、国際会議でも重要かつ喫緊の課題となっている。

能美市の第2次環境基本計画では、プラスチックごみの減量数値目標は明記していない。ごみ減量へ3Rの推進を図る。

▲ゴミの収集作業

一般質問

平成30年12月定例会～令和元年9月定例会（計4回）一般質問日　傍聴者アンケート集計結果

傍聴者数	アンケート回答者	回答率
192人	158人	82.3%

① 性別

男　性	118人
女　性	40人

② 年齢

19歳以下	2人
20代	1人
30代	1人
40代	4人
50代	12人
60代	52人
70代	70人
80歳以上	16人

③ 傍聴回数

初めて	49人
2～4回	45人
5～7回	33人
8回以上	31人

④ 本会議の開催を何で知りましたか（複数回答あり）

議会だより	26人
市議会HP	8人
広報能美	31人
無線放送	30人
ケーブルテレビ	5人
議員や知人に聞いた	102人
フェイスブック	6人
その他	8人

⑤ 今回の議会傍聴の目的や理由はなんですか（複数回答あり）

日頃から市政や議会に関心	48人
今日の内容に関心	43人
議員に誘われた	42人
各種団体や知人の誘い	19人
その他	2人

⑥ 議会だよりをご覧になりますか

毎号見る	68人
時々見る	52人
見ない	2人

⑦ 市議会HPをご利用になったことはありますか

よく利用する	8人
時々利用	51人
利用しない（したことがない）	51人

⑧ その他、議会活動全体へのご意見・ご要望

- 一問一答方式は大変良いと思う。
- 答弁はハッキリした言葉の方が良いと思った。
- 一問一答式も良いが、そこに至るまでの話し合いは互いにあるのか。疑問に思ったことを話すことはないのか。
- 議会の日数増やすことはできないか。
- 傍聴者がもっと増える工夫が必要。
- テレビで見るより楽しかった。
- 聴覚が弱い人も傍聴に来ると思うので、もう少しマイクの音量を上げる。

委員会行政視察

議会では、毎年、行政視察を行っています。議員が先進地を視察し、広く見識を深めることにより市政の発展に寄与することを目的としています。
今号では、広報特別委員会の視察内容を報告します。

広報視察報告

●視察日　7月25日（木）～　26日（金）
●視察先　滋賀県大津市議会、滋賀県甲賀（こうか）市議会

大津市議会の議会広報誌は全ページカラーで印刷されており、読みやすさに配慮している。広報誌内の注目すべき記事のひとつが、議員が一般質問などで取り上げた問題が、その後どうなったのか、予算化されたのか、などについての特集記事が設けられており、議会の活動の幅の広さを市民に周知させる工夫がなされている。タブレット端末の利用も進めており、年間で50万ページにもおよぶ紙の削減につながっている。

甲賀市議会では、31,600部配布の議会広報を、全ページカラーにて発行している。これは、市広報のカラー化に伴い議会広報もカラー化されたものである。平成28年度からは視覚に障がいのある方へ向けて「音読ＣＤ」の作成も進められているほか、一般質問の議員名の下にＱＲコードを配置し、動画に容易にアクセスできる取り組みも行っている。また、タブレット端末を活用して広報誌の編集を行っており、編集の即時性、利便性を向上させ、作業時間の短縮にもつながっているという報告を受けた。

議会活動をより広く、より分かりやすく伝えるという点に注力している両市議会の活動は全国的にも知られているところであり、今後、能美市議会としてもこの視察結果を受け、新しい視点に立った取り組みを検討していく必要性を感じた。

常任委員会の数を2つに再編。委員を増やし議論を促進

現在、能美市議会の常任委員会は、予算決算常任委員会を除き、総務、産業経済、教育福祉の３つの常任委員会で構成し、委員定数はそれぞれ６名となっています。

議会基本条例等検証特別委員会において、常任委員会の見直しに関する議論を重ねる中、「十分な審査が行えるよう各委員会の定数を増やすべき」との意見があり、常任委員会の構成を再編。「総務産業常任委員会」と「教育福祉常任委員会」の２つの常任委員会とすることとなりました。

なお、各委員会の所管事項は次のとおりです。

【総務産業常任委員会】
総務部、企画振興部、土木部、産業交流部、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、農業委員会および消防本部の所管に属する事項ならびに他の常任委員会の所管に属さない事項

【教育福祉常任委員会】
市民生活部、健康福祉部、市立病院および教育委員会の所管に関する事項

11月14日（木）臨時議会が開催されます

皆さまお気軽に傍聴にお越しください

特集

市内中学生と×議会との意見交換会

8月20日(火)、市内中学校3校の生徒会の皆さんと、市議会議場において「意見交換」を行いました。議会の説明の後、生徒さんからの質問に答え、また各学校の取り組みを発表して頂き、議員から質問を行いました。

短時間ではありましたが、事前にしっかりと準備を行って頂き、緊張感もありながら、充実した意見交換になりました。

▲根上中学校生徒会のみなさん

▲寺井中学校生徒会のみなさん

▲辰口中学校生徒会のみなさん

根上中学校の質問&回答

Q 議会がない時、議員はどのような仕事をしていますか

A 議員は、毎日議会へ出勤している訳ではありません。普段は、市の政策等についての調査や研究を行い、さらに自己研鑽に励むためにも県内外の研修会に参加しています。その他、定期的に開催される常任委員会や特別委員会への出席などがあります。

寺井中学校の質問&回答

Q 議員の仕事を行う上で大切にしていることは何ですか

A 能美市には、赤ちゃんからお年寄り、元気な人や病気の方など、様々な市民の方がいます。すべての人が幸せに暮らせるよう、多くの方々から意見を聞くことが大切です。その一つ一つに対応しながら、住んで良かったと思えるまちづくりを考え活動しています。

辰口中学校の質問&回答

Q 市議会の中で今年一番力を入れていることはどんなことですか

A 今年一年間ということではなく、近年、特に力を入れてきたのは「手話は言語である」との理解のもと制定された「手話言語条例」の施行にともなう、議場で手話による同時通訳を開始したことです。また、聴覚に障がいのある皆さんと意見交換会も行いました。

○根上中学校生徒会の取り組み

根上中学校生徒会は、挨拶は社会に出てからも重要だと考えています。毎朝7時45分から8時過ぎまで挨拶運動をしています。しかし、自分から挨拶をする習慣が身についている人は多くありません。そこで、目標はみんなが自分から挨拶をする学校を作っていくことです。

その取り組みとして、職員室の前にある廊下を「挨拶ストリート」と名付け、そこでは生徒や先生方などに会ったら挨拶をするよう、ポスターや掲示物で呼びかけています。これは歴代の生徒会が考え受け継いでいる取り組みです。他にも、生徒会が企画する部活動ごとの挨拶運動である「スマイル運動」も行っています。

○寺井中学校生徒会の取り組み

寺井中学校が取り組んでいるボランティア活動について紹介します。

「てらｅｙｅプロジェクト」では、学校に専用の箱を設置して、コンタクトレンズの空ケースを集めています。集めたケースはコンタクトのアイシティさんに持って行っており、賞状も頂きました。また、「もみじ弁当ボランティア活動」では毎年高齢者の方々のお宅を回ってお弁当を渡し、コミュニケーションをとることを目的に行っています。

最後に、清掃活動と、「ふだんの暮らしのしあわせに寄りそう会　～咲かせよう、笑顔の花～」についてです。これらは我々生徒会が企画の立案をするボランティアで、昨年度は和田山清掃を行いました。今年度は福祉活動も行っています。

○辰口中学校生徒会の取り組み

辰口中学校は、目指す学校・生徒像の「た・つ・の・く・ち」を掲げています。「た」は楽しい学校。「つ」はつながり合い高め合う生徒。「の」は伸びゆく能美市を支える生徒。「く」はくじけずやり抜く生徒。「ち」は力いっぱい生きる生徒。ということを示しています。

辰口中学校が独自に力を入れて、取り組んでいる活動は、「閖上（ゆりあげ）ひまわりプロジェクト」です。これは東日本大震災で被害を受けた東北の地域へ復興の願いと元気を届けるために行っています。２０１３年に宮城県の閖上（ゆりあげ）地区のひまわりの種をいただき、その種を本校で育て、そのひまわりの種を近江町市場で配っています。昨年には閖上（ゆりあげ）小中学校とも交流を持つことができました。

こんな活動しています

総　務･･･総務常任委員会
産　経･･･産業経済常任委員会
教　福･･･教育福祉常任委員会
議　運･･･議会運営委員会
全　協･･･議会全員協議会
広　報･･･広報特別委員会
基　地･･･基地対策特別委員会
基　本･･･議会基本条例等検証特別委員会

7月

9日　総務（各課報告）
　　広報（議会だより63号の編集）
10日　教福（各課報告）
11日　産経（各課報告）
12日　広報（議会だより63号の再編集）
17日　視察受入（蒲郡市：IoT推進ラボ）
25日　視察受入（米原市：子育て支援）
25日～26日
　　広報視察（大津市・甲賀（こうか）市）

8月

6日　総務（各課報告）
　　基本（議員定数）
7日　教福（各課報告）
8日　産経（各課報告）
19日　基本（議員定数）
21日　視察受入（名張市：住みよさランキング）
26日　議運（第３回定例会会期日程）
　　全協（　　〃　　）

9月

2日　議運（議事日程）
　　全協（　〃　）
　　本会議（開会、議案上程、提案理由説明）
4日　基本（議員定数）
9日　本会議（一般質問）
10日　本会議（一般質問、質疑、委員会付託）
11日　予算決算常任委員会全体会
　　産経、予算決算産経分科会（付託案件の審査）
12日　教福、予算決算教福分科会（付託案件の審査）
13日　総務、予算決算総務分科会（付託案件の審査）
17日　予算決算教福分科会（付託案件の審査）
18日　基本（議員定数）
19日　予算決算常任委員会全体会
　　議運（第３回定例会会期日程他）
20日　議運（議事日程）
　　全協（　〃　）
　　本会議（委員長報告、質疑、討論、採決、閉会）
　　広報（議会だより64号のレイアウト案）
26日　基地（行政視察）

本会議の録画映像をHPで配信しています　能美市議会映像配信　検索

令和元年
12月定例会のお知らせ
（会期：12月3日～12月20日）

皆さまお気軽に傍聴にお越しください

●12月　3日㈫　提案理由説明
●12月10日㈫　一般質問
●12月11日㈬　一般質問
●12月20日㈮　委員長報告、討論、採決

ご意見・ご感想

『のみだより』へのご意見・ご感想や能美市議会へのご意見などございましたら、下記の宛先までお寄せください。

〒923-1297 能美市来丸町 1110 番地
能美市議会事務局
ＴＥＬ：(0761)58-2240
ＦＡＸ：(0761)58-2295
E-mail：gikai@city.nomi.lg.jp

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、大変な酷暑となった今年の夏も過ぎゆき、木々の葉も色づく季節となりました。

スポーツ、文化の秋を先取りするかのように、市内保育園や小中学校の運動会も無事に終わり、子どもたちの元気でたくましい姿に感動させられました。また、全国大会や北信越大会に出場した中学生からは、能美市の大きな飛躍を実感いたしました。

そのようななか、世界陸上の男子50キロ競歩では、能美市出身の鈴木雄介選手が日本人選手で5人目となる金メダルを獲得し、夢と感動を与えてくれました。来年開催される東京オリンピックへの出場も内定し、更なる活躍に期待が高まります！

地元からエールを送った中学生や子どもたちは、鈴木選手のゴールの瞬間を忘れることはないでしょう。そして、その感動は「能美市民でよかった」という誇りとなり、自信へとつながることでしょう。

大きな飛躍へ向けた一歩。それを踏み出す勇気を与えてくれた鈴木選手に、心から「ありがとう！」

（北村周士）

広報特別委員会　委員長：仙台 謙三　副委員長：北村 周士　委員：開道 昌信、田中策次郎、佐伯富美子、卯野 修三、山下 毅

PRINTED WITH SOYINK™
能美市議会だよりは環境に優しい再生紙及び大豆油インキを使用しています。